

発行／出雲市 文化環境部 環境政策課 減量推進係 E-mail:kankyou-seisaku@city.izumo.shimane.jp

〒693-8530 出雲市今市町70 ☎0853-21-6988 FAX 0853-21-6597

3R促進ポスター コンクール作品紹介

平成25年度に環境省が「循環型社会」の実現に向けて、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の促進に関する啓発活動に資することを目的に募集した「3R促進ポスター」の応募作品を今回から数回に分けてご紹介します。



高松小学校 6年 青木理奈さん



高松小学校 6年 石田未来さん



すてきな作品を
どうもありがとう(^o^)



TOPICS! 出雲市



いずも古着市が開催されました

11月23日（土）、24日（日）に朱鷺会館において、いずも古着市実行員会が主催する「いずも古着市 2013」が開催されました。いずも古着市は、市民の皆様から不要となった衣類を引き取り、お求めの方へ販売するイベントです。衣類をごみとして出さず、リユースを促進する目的で開催されています。



〈23日：たくさんの衣類が集まりました〉

初日の23日には約7,800枚の衣類が持ち込まれ、翌日24日に販売されました。2日間の来場者数は約1,500人でした。



〈24日：オープン前の長蛇の列〉

販売当日はオープン前から長蛇の列ができ、両手に抱えきれないほどのたくさんの衣類を購入されるお客さまも多くいらっしゃり、約2,800枚が売れました。毎年このイベントを楽しみにいらっしゃる方も多く、ごみの減量化にも一役買っていることが改めて認識されました。

多くの方にご参加いただき、本当にありがとうございました。

また、売れ残ったものは、中古衣類や工業用ウエスとして、リユース、リサイクルされます。

アンケートで寄せられたご意見

いずも古着市会場でアンケート調査を実施したところ、様々なご意見をいただきましたので、主なものを紹介させていただきます。

(文章は、ご意見を集計、要約したものを掲載いたします)

- 古着の用途はどのようにされている？
- 海外でも、必要とされているなら届けて欲しい。

【回答】「いずも古着市」で売れ残った衣類は、衣類や古布のリユース・リサイクルの専門業者へ引き渡されています。引き渡した衣類や古布は、選別後、中古衣類として海外へ輸出されたり、工業用ウエスに加工されています。今回は、残った衣類約5,000枚を引き渡されました。

- 衣類をごみに出すのはもったいないと思っていた。良い企画だと思う。
- 年に複数回開催して欲しい。毎年開催して欲しい。



【回答】「いずも古着市」は、来場者の方からたいへん好評をいただいております。

「いずも古着市」は、衣類の売上金だけでなく、出雲市の補助金やたくさんのボランティアスタッフの方々により開催されています。

なお、市内には複数のリサイクルショップがあります。普段からリサイクルショップを利用し、積極的に「3R」を推進しましょう。



〈24日：販売会場の様子〉

消費税改定によりごみ処理 手数料が変更になります。

平成26年4月1日より、消費税及び地方消費税の税率が8%に引き上げられることに伴い、出雲市指定ごみ袋及び収集券代金等（一般廃棄物手数料）の一部について、次のとおり改定を行います。

◎指定ごみ袋・収集券の代金

なお、3月31日までに購入されたものも、4月1日以降そのまま使うことができます。

区 分	種 類		現在の金額（税込）	平成26年4月1日 からの金額（税込）
家庭系	ごみ袋 (各10枚入)	可燃（大）	500円	510円
		可燃（小）	300円	（改定なし）
		可燃（特小）	150円	（改定なし）
		破碎（大）	500円	510円
		破碎（小）	300円	（改定なし）
		埋立（大）	500円	510円
		埋立（小）	300円	（改定なし）
		リサイクル（大）	100円	（改定なし）
		リサイクル（小）	50円	（改定なし）
	収集券 (1枚あたり)	可 燃	50円	51円
		破 碎	50円	51円
		埋 立	50円	51円
		粗 大	1,000円	1,028円

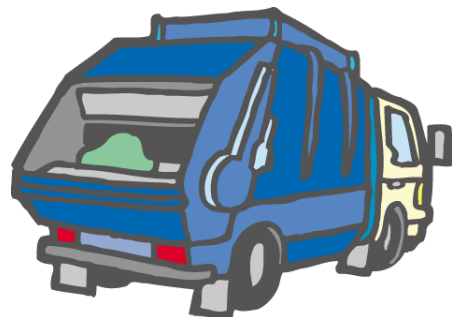
区 分	種 類		現在の金額（税込）	平成 26 年 4 月 1 日 からの金額（税込）
事業系	ごみ袋 (各 10 枚入)	可 燃	1, 2 0 0 円	1, 2 3 0 円
		破 碎	1, 2 0 0 円	1, 2 3 0 円
		埋 立	1, 2 0 0 円	1, 2 3 0 円
	収集券 (1 枚あたり)	可 燃	1 2 0 円	1 2 3 円
		破 碎	1 2 0 円	1 2 3 円
		埋 立	1 2 0 円	1 2 3 円

(問合せ先) 環境政策課 21-6988

◎ごみ処理施設に持ち込みした場合の手数料

区 分	単 位	現在の金額（税込）	平成 26 年 4 月 1 日か らの金額（税込）
家 庭 系	1 0 kg ごと	5 0 円	5 1 円
事 業 系	1 0 kg ごと	1 5 0 円	1 5 4 円
家庭系と事業系の混合	1 0 kg ごと	1 5 0 円	1 5 4 円
飼い犬、飼いねこ等の死体	1 頭あたり	3, 0 0 0 円	3, 0 8 5 円

(問合せ先) 環境施設課 21-6990





教えて！ ごみの出し方！

このコーナーでは、知っているようで知らなかったごみの出し方や、ついつい起こってしまうトラブルなどをテーマに分かりやすく解説していきます。

今回は・・・

スプレー缶・カセットボンベを 捨てる時は必ず穴をあけましょう！



スプレー缶やカセットコンロのカセットボンベは空にしてから、必ず工具や釘を使って穴を開けてから「破碎ごみ」として捨ててください。



※ 昨年12月18日に出雲クリーンセンター（不燃ごみ処理施設）において火災が発生しました。原因としては、破碎ごみを破碎処理した際に発生した火花が、投入された可燃性物質（スプレー缶等）に引火し、その火が破碎ごみに燃え移ったため火災が発生したと考えられます。今後このような事故が発生しないためにも、スプレー缶やカセットボンベは空にしてから、必ず穴を開けて廃棄してください。

突撃！ごみ減量化レポート！

このコーナーは、皆様のご家庭や職場でごみ減量をどのように工夫して実践しているかをしるかをレポートし、紹介するという情報コーナーです。

今回は斐川地域にお住いの青木さんのご自宅に突撃させていただきました。

斐川地域にお住いの青木住子さんは、出雲市が委嘱するごみ減量化アドバイザーとして、地域でのごみの減量に関する活動を積極的に展開しておられます。今回は青木さんが長年取り組んでいらっしゃる「さき織り」について教えていただきました(^)

さき織りを始められたきっかけは何でしたか？

「私がさき織りを始めたきっかけは、10年以上前に東京の富士見橋エコ広場館から招いた講師先生のお話を伺ってからでした。それから出西公民館女性部のみんなとチャレンジしたんです。斐川に環境学習センターがオープンしてからはそこに拠点を移して、現在は体験教室も開いていますよ。」



青木さんの素敵な作品です



バッグなどもあります

裂き布で作られた素晴らしい作品がたくさんありますね。さき織りはリサイクルとしてごみの減量化になっていますか？

「そうですね。ごみの減量化としては些細なことかも知れませんが、おばあちゃんが昔着ていた古い着物や、自分が昔着ていた古いブラウスやスカートがタンスに眠っているでしょう。それらを今風に作り変えて着れることがとっても良いことだと思うんですよ。思い出を大切にしている実感があるんですよ。」

おお！大切な思い出の服を甦らせて楽しむなんて！スタイリッシュですね(^)

「そうですね。体験教室に来られる方も、最初は要らない布を持って来られるのですが、次からは思い出の品を持って来られますからね。」

古いものを大切にする気持ちこそ「もったいない」の精神ですよね。とても素晴らしいお話を伺うことができました。

斐川環境学習センター（Tel 72-5242）ではさき織りの体験教室が月に1回されますので、皆さまもぜひ参加されてみませんか(^o^)/



レトロな機織りで織っていきます



働くオジサン！ こんにちは！

このシリーズは、ごみ処理の現場で働いていらっしゃる皆さんから、市民の皆様へ生の声を伝えるためのコーナーです。

今回は、ワルツ商事有限会社の土江さんと勝部さんにお話を伺いました。

出雲地域の可燃ごみ・不燃ごみの収集を行っているワルツ商事有限会社の土江さんと勝部さんは長年ごみの収集作業を行っていらっしゃるスペシャリストです。毎日毎日、暑い日も寒い日も、雨の日も雪の日も市民のごみを収集していただいています。

日々の収集作業の中で、何か困ったことはありませんか？

「はい。ごみの分別収集が始まって随分年月が経ちましたので、ごみ分別のルールは市民の皆様はかなり定着したように思います。しかし、ルールが守られていないため残すごみ袋もまだまだあります。他には、ごみ袋から鋭利な金属やガラスの破片が飛び出していることがあり、厚手のゴム手袋を使ってもケガをすることが多いですね。」

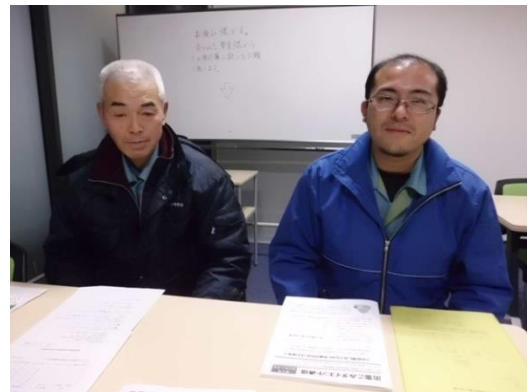
それは大変危険ですね。市民の皆さんも収集作業をされる方のことを考えてごみを出してくださいね。他に何か気付かれることがありますか？



「そうですね。最近気になることは、家電リサイクル法対象の家電品が分解された状態で破碎ごみの袋に入っているものを見かけることですね。収集の時に気が付けば貼り紙を貼って残しますが、それ以前にこれは違法行為ですので、きちんと家電量販店などで処分して欲しいですね。」

なんと！そのような市民もいらっしゃるのですか。大変残念な話ですね(>_<)

テレビ・洗濯機・衣類乾燥機・冷蔵庫・冷凍庫・エアコンは家電リサイクル法対象機器です。またパソコンはパソコンリサイクル法の対象になりますので、きちんと法律を守って処分をお願いします。



勝部さん（左）と土江さん（右）です。



リサイクルは 先人に学べ!



前回から始めましたシリーズ「リサイクルは先人に学べ!」は、江戸時代から昭和初期の先人が生活の中で普通に行っていたリサイクルについて学び、現代の私たちがどのようにその知恵を生かしていくか?というコーナーです。

江戸時代の日本は素晴らしいリサイクル社会であり、現代の私たちが目指している持続可能な循環型社会であったと言われています。そのため、当時のヨーロッパの都市と比べても日本の都市はとても清潔だったそうです。

江戸時代はごみを減らすためのリサイクルではなく、「モノを大切に最後まで使う」という考え方によりリサイクル社会を生み出していったのです。それは単に貧しかったからだけではなく、先人たちの絶え間ない努力によるものだということも忘れてはなりません。

右の絵は「鑄(い)かけ」の仕事をしていた人を描いたものです。

「鑄かけ」とは金属製品の修理専門業者です。古い鍋や釜などの底に穴があいて使えなくなったりした時は、町を巡回している鑄かけ屋さんが来るのを待って修理してもらったようです。鑄かけ屋さんは炭火に鞆(ふいご)で空気を吹き付けて高温にし、穴のあった部分に別の金属板を張り付けたり、折れた部分を溶接する特殊な技術があったようです。



出展:「守貞謄稿」国立国会図書館

鑄かけ屋さんは昭和 30 年代まで存在していたよ

うです。私(筆者)も以前、祖父から聞いたことがあります。直江の町を鑄かけ屋さんが巡回し、玄関先にムシロを敷いて壊れた鍋を直してくれたそうです。



大量消費社会による繁栄の陰にある深刻なごみ問題。これらの解決のヒントは外国よりも、案外私たちの祖先の生活の中にあるかも知れません。



ごみに関する エトセトラ



今回から始まりました新シリーズ「ごみに関するエトセトラ」は、私たちの生活の中に意外と身近にあるごみについて語る雑学コーナーです。まずは「ことわざ」の中にある「ごみ」についてです。

「ことわざ」とは、観察と経験そして知識の共有によって、長い時間をかけて洗練されたもので、多くは簡潔で覚えやすく、また言い得て妙であり、真実を鋭く言い当てていたりします。そんな「ことわざ」の中には「ごみ」を含んだものが案外たくさんあります。

今回は・・・

「新しい畳でも 叩けばごみが出る」

この「ことわざ」は、「無理に人やものの欠点やあら捜しをするものではない」という例えです。どんなに立派に見えるものであっても、どこかに矛盾や欠陥はあるものだという事です。

相手に対してついつい完璧を求めてしまう現代社会。ほんの一昔前のように、おおらかで心安らぐ生活を過ごしていきたいものですね。

